

国際会議から 第39回判断と意思決定学会 (SJDM2018)

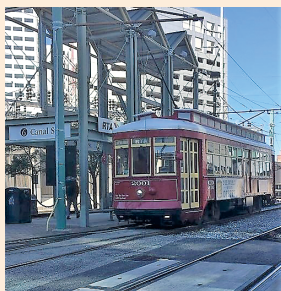
本国際会議は、判断や意思決定に関する心理学や行動経済学の専門的な会議です。第1回が1980年にセントルイスで開催されて以降、アメリカ合衆国やカナダで毎年開催されています。今年はニューオーリンズで開催され、世界中から多くの著名な研究者が集まりました。

本国際会議では、損失回避、不確実性、消費者行動、個人差、利他主義、選択過程、学習など多くのセッションがあり、意思決定分野における最新の知見を得ることができました。本国際会議の一部のセッションは第59回心理科学協会年次大会と共同で行われました。筆者は個人差 (individual differences) のセッションにおいて、個人差が生理反応と意思決定に与える影響についてポスター発表を行いました。聴講者からは分析の結果や使用した尺度、今後の展望について質問を受けました。また、意思決定で著名な専門家と今後の研究の方向性や論文の投稿先を含めながら議論を行うなど、貴重な時間を過ごすことができました。

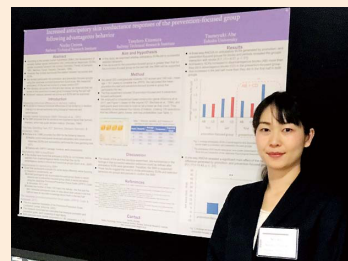
滞在中には路面電車を利用しました。地元の方々はこちらから声をかけずとも路面電車の乗り方や道を教えてくれるなどニューオーリンズの方々のフレンドリーさを感じました。また、道を歩いているとさまざまな店舗や通りから多様なジャンルのジャズが流れてくるのを聴くことができ、ジャズの聖地とよばれる所以を垣間見ることができました。



セッション間の会場の様子



ニューオーリンズの路面電車



小野間統子
人間科学研究部
安全心理研究室
研究員

正式名称：Society for Judgment and Decision Making
The 2018 39th Annual Conference
開催国：アメリカ合衆国 (ニューオーリンズ)
期間：2018/11/16-19
主催：Society for Judgment and Decision Making
開催頻度：年1回
次回開催予定：2019/11/15-18
カナダ (モントリオール)
ホームページURL：http://www.sjdm.org/